

## (1) 教育長報告

年月日	曜	時刻	行事名	場所
20/06/24	水	14:00	教育委員会定例会	都南分庁舎 教育委員会室
		15:30	臨時市内校長・園長会議	都南分庁舎 大会議室
20/06/25	木	9:30	岩手育英会第1回評議員会	中央公民館
20/06/26	金	13:00	【市議会】定例会最終日	本庁舎 議場
20/06/27	土			
20/06/28	日			
20/06/29	月			
20/06/30	火	10:00	不登校対策本部会議	都南分庁舎 特別会議室
20/07/01	水	9:30	学校訪問(異動校長)	北松園中, 玉山中, 渋民小, 米内幼, 緑が丘小
		16:00	岩手大学教職大学院多田特命教授来訪	都南分庁舎 教育長室
20/07/02	木	9:30	学校訪問(異動校長)	永井小, 見前小, 見前南小, 見前中, 都南東小, 手代森小, 城東中
20/07/03	金	13:30	学校訪問(異動校長)	青山小, 土淵小・中, 太田東小, 大宮中
20/07/04	土			
20/07/05	日			
20/07/06	月	13:30	教育委員会業務③	都南分庁舎 教育委員会室
20/07/07	火	13:30	不登校対策委員会	都南分庁舎 大会議室
20/07/08	水	9:00	【中止】市教委学校訪問	大宮中学校, 永井小学校
		9:30	学校訪問(異動校長)	杜陵小, 山岸小, 下小路中, 河北小
		14:00	第1回盛岡市文化財保護審議会	もりおか歴史文化館 1階研修室
20/07/09	木	9:30	学校訪問(異動校長)	本宮小, 仙北小, 仙北中, 山王小, 東松園小
20/07/10	金	14:30	第2回市内校長・園長会議	都南分庁舎 大会議室
		16:00	令和2年度第1回実習連携協力校校長と岩手大学教職大学院との意見交換会(挨拶)	都南分庁舎 大会議室
20/07/11	土			
20/07/12	日			
20/07/13	月			
20/07/14	火	9:30	学校訪問(異動校長)	厨川小, 北厨川小, 北陵中, 松園中
20/07/15	水	10:30	第2回管内市町教育長会議	サンセール盛岡2階 福来(南)
20/07/16	木		【中止】【協議会】東北六縣市町村教育委員会連合会定期総会	(盛岡市)
		13:00	第1回岩手大学教育学部・教職大学院地域連携協議会	岩手大学教育学部 総合教育研究棟(旧1号館)3階 第2会議室
20/07/17	金		【中止】【協議会】東北六縣市町村教育委員会連合会 教育委員・教育長研修会	(盛岡市)
		11:05	盛岡税務署長来訪(着任挨拶)	都南分庁舎 教育長室
		13:30	教育委員会業務④	都南分庁舎 教育委員会室
20/07/18	土			
20/07/19	日			

年月日	曜	時刻	行事名	場所
20/07/20	月			
20/07/21	火			
20/07/22	水	10:20	第66回盛岡市戦没者追悼式(献花のみ)	盛岡劇場
20/07/23	木	13:05	不来方大学院 開講式	中央公民館 講堂
		13:50	市中総体バスケットボール競技視察	タカヤアリーナ
20/07/24	金			
20/07/25	土			
20/07/26	日			
20/07/27	月	15:45	盛岡市小学校長会第3回定例研修会(講話)	サンセール盛岡
20/07/28	火	14:00	教育委員会定例会	都南分庁舎 教育委員会室

## (2) 令和2年度不登校対策事業について

6月30日「不登校対策本部会議」及び7月7日「不登校対策委員会」の協議を受け、令和2年度の不登校対策事業について、次の下線部を追記します。

- ◆ 「継続数」と「新規数」に着目した望ましい支援の充実
- ◆ 未然防止と初期対応の充実による新規不登校の抑制
- ◆ 児童生徒の社会的自立に向けた組織的・継続的支援の充実

### <重点1：未然防止>

◇不登校を未然に防ぐ学級経営、学習指導の充実

- ・ 「絆づくり」や「居場所づくり」を通じた魅力ある学校づくり
- ・ わかる授業の実践と、個に応じた生徒指導
- ・ 「心とからだの健康観察」や各種アンケート等の活用

### <重点2：初期対応>

◇欠席3日で校内「対応チーム」を発足し、情報共有と役割分担の確認

- ・ 「欠席3日で校内『対応チーム』を発足し、ケース会議を開催する。」という初期対応の基本の周知徹底
- ・ ケース会議や支援会議において、情報共有にとどまらず、「いつ、だれが、どのように動くのか」といった、具体的対応の協議と確認
- ・ 担任単独ではなく、複数教員でのチームによる初期対応策の確立

### <重点3：自立支援>

◇「不登校個票」を基にした、“具体的計画立案 → 対応 → 評価 → 改善”のPDCAサイクルによる「対応チーム」および関係機関等と連携しての組織的な対応

- ・ 「不登校個票」の活用促進
- ☆ **保護者との丁寧な関係構築を基に、SSWやSC、関係機関と連携した具体的な家庭環境への働きかけや保護者支援**
- ☆ **「学校復帰」のみを目標としない「社会的自立」に向けた支援**  
**（「登校はできなくても、〇〇（学習等）はできる」という視点での支援の模索）**
- ・ 復帰を果たした児童生徒への継続的な支援
- ・ 校種間における不登校児童生徒についての情報の引き継ぎの徹底

### <会議での意見、確認事項>

- 令和元年10月25日付文部科学省通知でも「学校復帰へ」から「社会的自立へ向け」へと表現の改正がされていることや、義務教育修了（中学校卒業）後も多様な進路の可能性のあることを踏まえ、「学校復帰」のみを目標とせず、仮に学校に登校できなくても、児童生徒の成長につながるような長期的な視点に立った生活面・学習面等の支援も視野に入れた取組を、各学校において行うことが望ましい。
- 不登校の要因は多岐にわたっており、学校内だけでの対応が困難な事案が増加傾向にあることは全国的な課題である。

学校として組織的な支援・対応を行うことはもちろんであるが、児童生徒や保護者・家庭の状況に応じて、福祉・医療・SC・SSWとの連携を含めた組織的な対応が、これまで以上に求められる。市内でも医療・福祉面からの支援によって状況が改善に向かっている事例も報告されている。各校においては、各事案についてその原因や状況を多面的にとらえ、適切な支援・対応が可能となるようお願いしたい。